

未来塾出身者が県内各地で活躍中！

中山間地域の課題解決に向けて活動するリーダーを育成する

ひろしま「ひと・夢」未来塾 第10期生募集中（7月15日締切）

県では、将来にわたって地域に暮らす人たちが、「笑顔で幸せな生活」を営むことができる中山間地域を実現するため、地域に活力を生み出し、様々な生活課題を解決する原動力となるリーダーの発掘やネットワークの構築、また主体的な地域づくり活動を支援しています。その中でも、「ひと・夢」未来塾では、広島県の「中山間地域」に愛着を抱き元気にしたいと考えている方に対し、実践的な地域づくりのノウハウを学ぶ講座や実践的な研修を提供しています。

今年度で10期目を迎えますが、第1期生（平成27年度）以来、285名が卒塾し、これまで「都市部の住民と地域農業をマッチングさせるシステムの構築」や、「林業の担い手を確保するための体験宿の提供」など、中山間地域を舞台に様々なプランが実践されています。

現在、「ひと・夢」未来塾に応募いただける方を募集しています。ぜひ意欲的に活躍される方に受講いただきたいと思っております。

中山間地域の発展のため、貴メディアで御紹介を賜りますようお願いいたします。

1 塾の概要

項目	内容
名称	ひろしま「ひと・夢」未来塾（塾長 広島県知事 湯崎英彦）
研修期間	令和6年8月～令和6年12月
研修コース	<ul style="list-style-type: none"> ■起業準備コース：中山間地域における起業や事業拡大に資するスキルを獲得し、持続性があり実現可能なビジネスプランを作成する ■地域とつながり課題解決コース：地域が抱える課題を解決する取組をどのように展開するのかといったプランを作成する。さらに、地域からの信頼獲得に向けたスキルを身に付ける。
開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ■起業準備コース：全6回（入塾式及び卒塾式を含む） ■地域とつながり課題解決コース：全5回（入塾式及び卒塾式を含む）

2 塾生の募集

項目	起業準備コース	地域とつながり課題解決コース
応募締切	令和6年7月15日（月）	
募集人数	20人	10人
受講料	無料	
対象者	県内に在住の原則20代～40代の者のうち、次の条件を満たす者	県内に在住の原則20代以上の者のうち、次の条件を満たす者
	①「ひろしま里山・チーム500」に登録する意図があること	②地域が抱える課題を解決するため、地域と協働し、主体的に活動を実施しようと考えていること
応募方法	エントリーフォームに必要事項を記載し、WEBで申込み https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/chusankan-hitoyume.html	

※裏面にはこれまでの受講状況等を掲載しています。

ひろしま里山・チーム500（ごーまるまる）とは

中山間地域が抱える様々な課題の解決に向け、中山間地域の将来を担うリーダーを育成・確保し、ネットワークの構築と自主的な活動の継続を支援することを目的として、平成28年度にウェブ上に構築した登録制プラットフォーム。県は登録者の活動を後押しする様々な支援を展開中。

【登録条件】年に1回以上、中山間地域における地域づくりの取組を自ら企画・実践すること

【サイト】<https://team500.hiroshima.jp/>

◆昨年度の最優秀賞

【生活課題解決コース最優秀賞】

ひろしま援農計画

～ヒトとコトを紡ぐ地方の財産と都市部人材のマッチングサービス～

藤中 拓弥さん（大崎上島町）



都市住民の目的に応じ、援農型（ボランティア）、体験型（観光または研修）、労働型（アルバイト）の3つのカテゴリから選択して参加可能な援農マッチングサイトを構築し、都市住民に対する農業体験機会の提供と地域農業の人手不足の解消を図り、関係人口の創出を目指します。

ひろしま援農計画：<https://www.hitofusa.and-period.co.jp/pages/volunteer>

【起業準備コース最優秀賞】

自然を感じる木こり体験の宿「太田屋 since2024」

大内 良三さん（北広島町）

年々林業の担い手不足により山林の荒廃が進み始める中、林業の担い手を作るには「学校教育+林業体験+遊び（自然体験）」の3つが必要と考えました。



いきなり林業の担い手をつくるというのはハードルが高いため、まずは自然豊かなこの古民家に来ていただき、木に触れるきこり体験を味わってもらう事から始めようと思い、その拠点として空き家だった古民家を改修し、体験型一棟貸しを始めます。

この取組により、関係人口・移住者の増加、林業の担い手不足の解消を目指します。

◆これまでの受講状況

《卒業者数》

年 度	人 数		
平成27年度(第1期生)	47人	(はじめの一步コース 20人、	プロフェッショナルコース 27人)
平成28年度(第2期生)	39人	(はじめの一步コース 17人、	プロフェッショナルコース 22人)
平成29年度(第3期生)	32人	(マイプランコース 10人、	マネタイズコース 22人)
平成30年度(第4期生)	31人	(はじめの一步コース 22人、	ステップアップコース 9人)
令和元年度(第5期生)	37人	(はじめの一步コース 26人、	起業準備コース 11人)
令和2年度(第6期生)	14人	(起業準備コース 14人)
令和3年度(第7期生)	26人	(地域密着型人材育成コース 10人、	起業準備コース 16人)
令和4年度(第8期生)	31人	(地域密着系人材育成コース 13人、	起業準備コース 18人)
令和5年度(第9期生)	28人	(生活課題解決コース 13人、	起業準備コース 15人)
計	285人	(うち、「ひろしま里山・チーム500」の登録者	170人)

《実践プラン等の状況》

区分	実践プラン等の状況
第1期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 食肉として利用できない捕獲した鹿肉の部位をペットフードとして開発・販売(三次市) ● 築170年の宿坊を再生し、カフェを開業(世羅町)
第2期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本棚田100選に選ばれた井仁の棚田でカフェを開業(安芸太田町)
第3期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域交流を目的としたフリーマーケット運営のための合同会社の設立(東広島市)
第4期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 間伐材を利用し、森林保全や地域の活性化につながる薪ビジネスを事業化(三次市)
第5期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の野菜を使ったレシピを考案し、料理教室を開催(東広島市) ● とびしま海道の認知度を向上させるため、地域の特産品を使用したビールを開発・販売(呉市)
第6期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 漂着ごみである「カキ養殖用パイプ」を使用し、アクセサリとして加工・販売(呉市) ● 休耕田に真菰(まこも)を栽培し、商品として加工・販売(広島市)
第7期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 住居や魅力ある教育環境を情報発信することで、小学校の児童数 100 人を目指す。(北広島町) ● 地域の鳥獣被害ゼロを目指し、ジビエ肉処理施設等の開設と関連イベントの企画(尾道市)
第8期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業体験塾を開催し、農の後継者を育成し持続可能な農業を目指す。(三次市) ● 古民家を改修し、市域内外の人たちが交流できる空間づくりを目指す。(北広島町)
第9期生	<ul style="list-style-type: none"> ● 援農マッチングサイトを構築し、農業体験機会の提供等、関係人口の創出を目指す。(大崎上島町) ● 古民家を改修し、講習を受けられる施設を開業し、林業の担い手不足の解消を目指す。(北広島町)